

日本では茶花として用いられています。

< 植物名 >

カリオブテリス

青

水やり

乾きすぎを嫌う為、鉢土の表面が乾いた頃にたっぷりと水やりを。

置き場所

日向から半日陰で育つが、半日陰地では茎が徒長したり、花の数が少なくなることがある。

用土肥料

春に肥料を施す。水はけが良く、肥沃な土壌を好む。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

株分け 挿木

冬越し

ロゼット状になって冬越しする。耐寒性が有るが、簡単な霜よけをした方が芽がよく出る。

使い方 花壇、鉢植え、切花

学名 Caryopteris

英名

属名 カリガネソウ

科名 シソ

性状(分類) 多年草

原産地 東アジア

花の色 青

開花期 7月～9月

購入時期

草丈 50～150 cm

ID 1184

季節 夏 秋

JFコード 27355



冬越しと置き場所

水はけが良く、肥沃な土壌を好む。日向から半日陰で育つが、半日陰地では茎が徒長したり、花の数が少なくなることがある。

その他の解説

春に肥料を施す。ロゼット状になって冬越しする。耐寒性が有るが、簡単な霜よけをした方が芽がよく出る。

特徴 1

日本では九州に自生し、茶花としても用いられている。乾きすぎを嫌う為、鉢土の表面が乾いた頃にたっぷりと水やりを。

特徴 2

紫色の花には香りが有り、上部葉腋に集まって段状に咲き、葉は灰緑色でキクの葉に似ている。日本では九州に自生し、茶花としても用いられている。この属は東アジア等にある約10種からなり、属名は果実には翼があることから、ギリシア語の"堅果-karyon"と"翼-pteron"を元に付けられたそう。